



## 有機JAS制度を巡る現状について

平成22年2月

 有機JAS規格に関する意見交換会 

### 目次



- ・ 有機JAS制度について 1～5
- ・ 世界の有機食品の現状  
～各国と日本の比較～ 6～11
- ・ 日本における有機食品の現状 12～21
- ・ 有機畜産物について 22～24

## JAS制度について

### JAS法において定めている農林物資の範囲

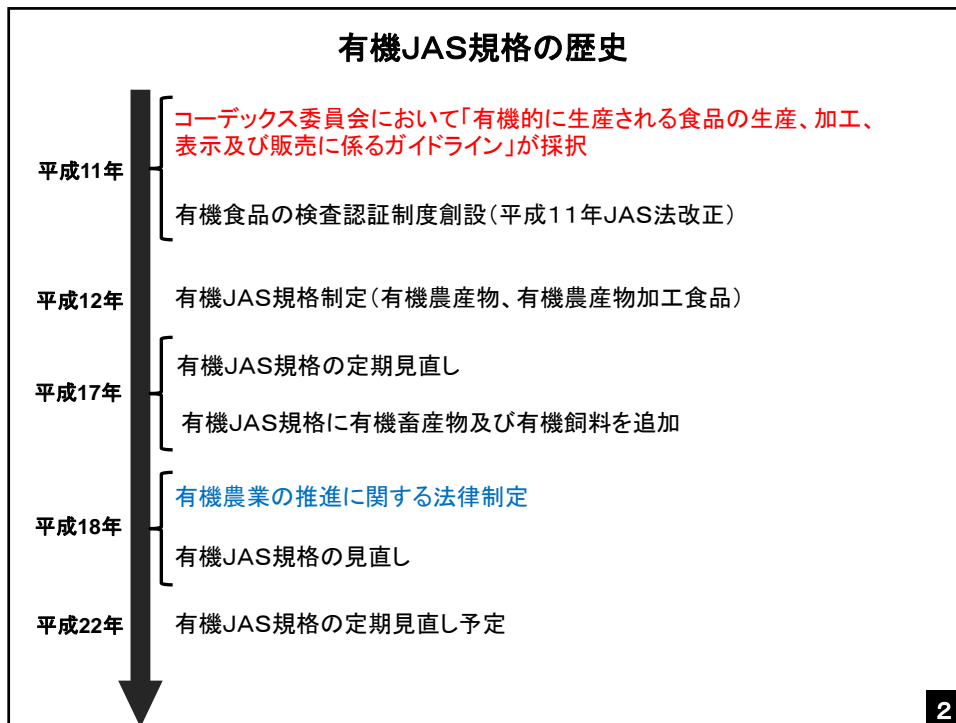
農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律

**第二条** この法律で「農林物資」とは、次の各号に掲げる物資をいう。ただし、酒類並びに薬事法に規定する医薬品、医薬部外品及び化粧品を除く。

一 **飲食料品及び油脂**

二 農産物、林産物、畜産物及び水産物並びにこれらを原料又は材料として製造し、又は加工した物資（前号に掲げるものを除く。）であつて、**政令で定めるもの**。

**農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律施行令（政令）で定めるもの**  
いぐさ製品、生糸、一般材、押角、耳付材、電柱、枕木、合板（航空機用のものを除く）、床板、木炭及び農産物又は畜産物を原料又は材料とする飼料



## 有機JAS規格は4規格

- 有機農産物のJAS規格
  - ・ 農地の生産力を発揮させ、農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減すること
  - ・ は種・植付け前2年以上(多年生作物の場合は収穫前3年以上)、原則として化学的肥料及び農薬は使用しないこと
- 有機加工食品のJAS規格
  - ・ 化学的に合成された食品添加物や薬剤の使用は極力避けること
  - ・ 原材料は、水と食塩を除いて、95%以上が有機農産物、有機畜産物又は有機加工食品であること

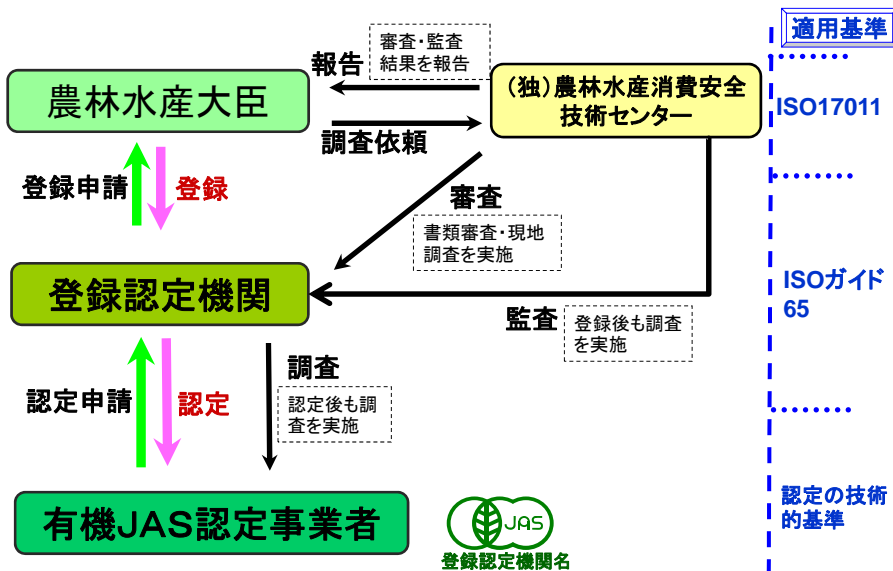
3

## 有機JAS規格は4規格

- 有機畜産物のJAS規格
  - 有機畜産用自家生産飼料又はJAS有機飼料等を給与すること
  - 動物の生理学的、行動学的要求に配慮して飼養した家畜又は家きんから生産すること
  
- 有機飼料のJAS規格
  - 化学的に合成された飼料添加物や薬剤の使用は極力避けること

4

## 有機JASの検査認証制度の仕組み



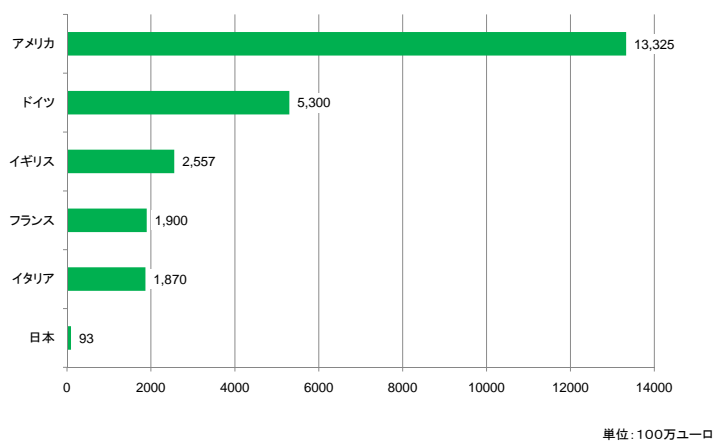
5

## 世界の有機食品の現状

～各国と日本の比較～

日本の有機食品市場規模は諸外国に比べ非常に小さい

有機食品の市場が大きい国トップ5と日本(平成19年)

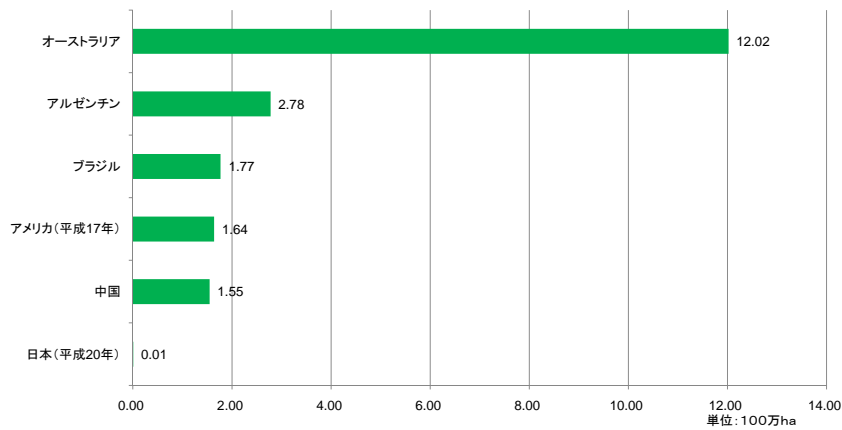


※参考資料: The World of Organic Agriculture – Statistics & Emerging Trends 2009 (FIBL/IFOAM)

※ 日本: 農業総生産額及び格付率からの推定(1ユーロ=160円で換算)

## 日本の有機ほ場面積は諸外国に比べ非常に小さい

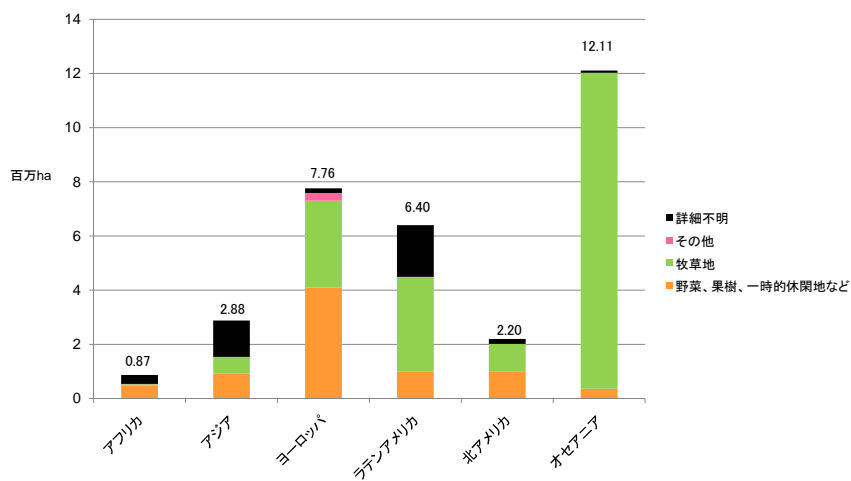
有機ほ場面積が広い国トップ5と日本(平成19年)



※参考資料: The World of Organic Agriculture – Statistics & Emerging Trends 2009 (FiBL/IFOAM)

## 外国の有機ほ場の大部分は牧草地

地域別の有機ほ場面積とその主な用途(平成19年)



※参考資料: The World of Organic Agriculture – Statistics & Emerging Trends 2009 (FiBL/IFOAM)

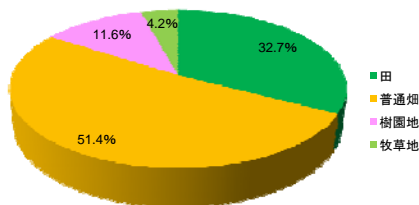
## 国内の有機ほ場の半分以上は畑

国内の有機ほ場面積の割合(平成20年)

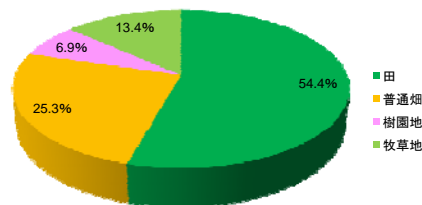
	田	畑	畑			その他	耕地面積合計
			うち普通畑	うち樹園地	うち牧草地		
国内耕地面積(ha)	2,516,000	2,112,000	1,171,000	320,000	621,000		4,628,000
有機ほ場面積(ha)	2,810	5,777	4,416	998	362	9	8,595
有機ほ場面積の割合(%)	0.11	0.27	0.38	0.31	0.06		0.19

※ 国内耕地面積は、農林水産省統計部の公表値(平成20年農作物作付(栽培)延べ面積)  
 ※ 有機ほ場面積には転換期間中の耕地面積を含む。  
 ※ 田(水田)の裏作で行う畑作は、畑に含まない。  
 ※ 「その他」はきこ栽培における採取場等

有機ほ場の面積構成

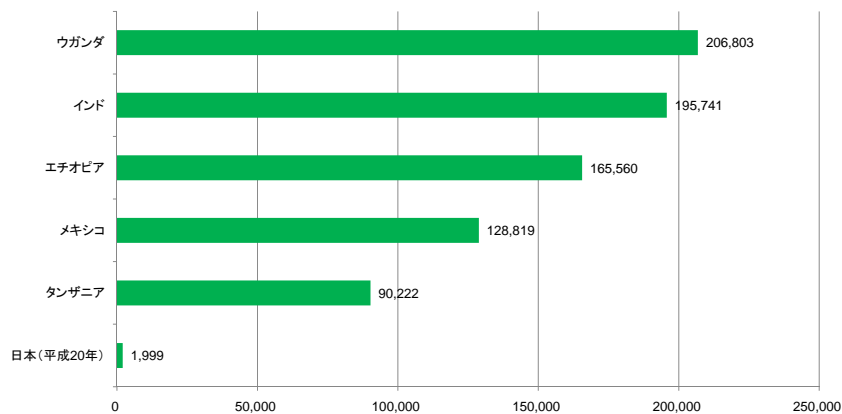


国内耕地の面積構成



## 途上国ではグループ認定により多数の生産者が有機農産物を生産

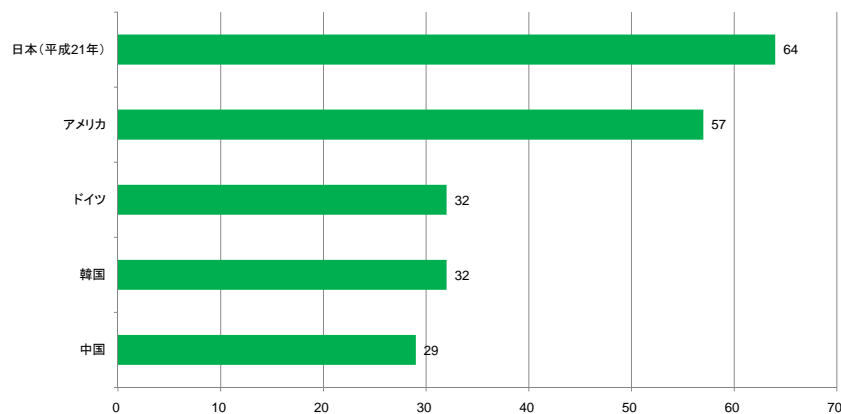
有機農産物生産者の多い国トップ5と日本(平成19年)



※参考資料: The World of Organic Agriculture – Statistics & Emerging Trends 2009 (FiBL/IFOAM)

有機の市場規模、ほ場面積等と比べ、国内の認証機関(登録認定機関)数は多い

有機認証機関数の多い国トップ5(平成20年)



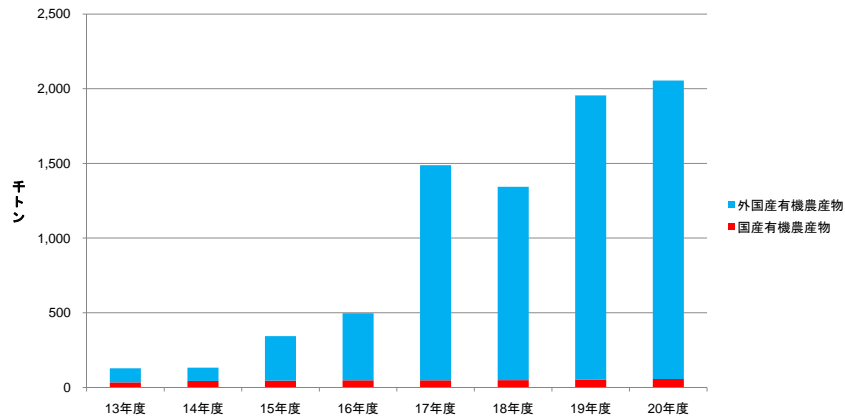
※参考資料: The World of Organic Agriculture – Statistics & Emerging Trends 2009 (FiBL/IFOAM)

## 日本における有機食品の現状



## 有機農産物は外国産の格付量が多い

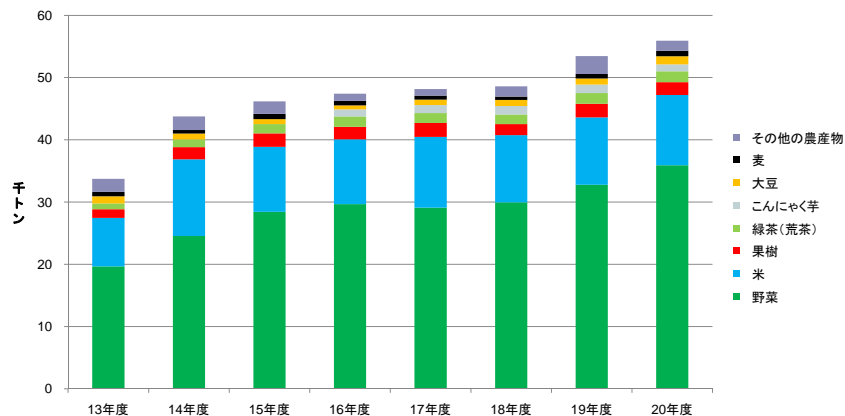
有機農産物JAS格付実績の推移(国産・外国産)



※外国でJAS格付された有機農産物は、主に外国で有機農産物加工食品の原材料として使用される。

## 国産有機農産物は野菜、米が多い

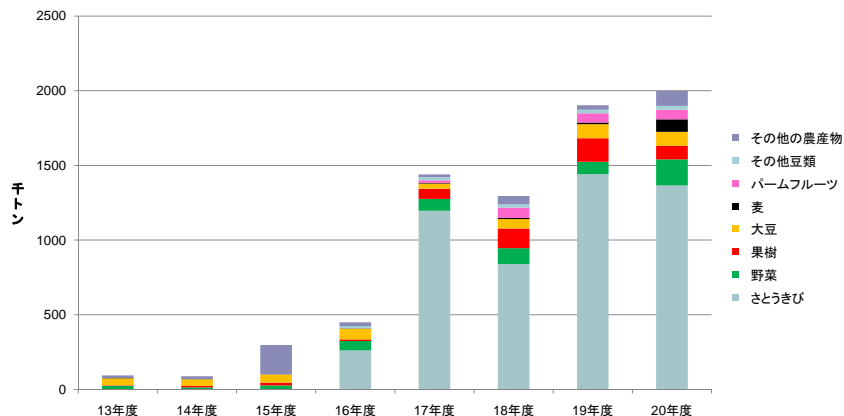
国産有機農産物のJAS格付実績の推移



※平成13～15年度は、「こんにゃく芋」の格付実績は「その他の農産物」に含まれる。

## 外国産有機農産物はさとうきびが多い

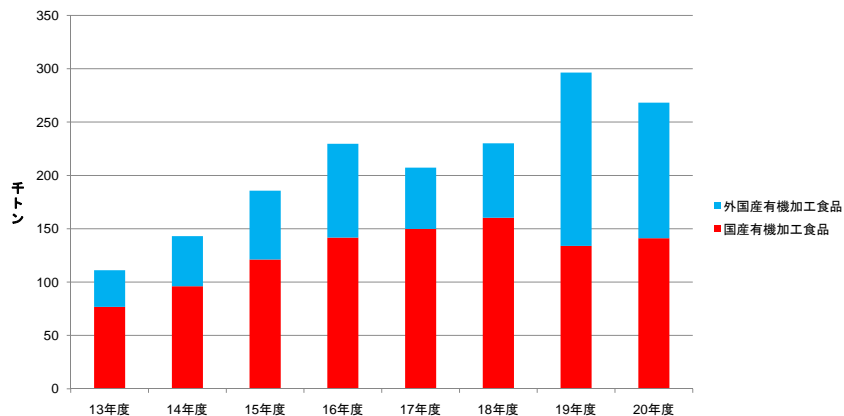
外国産有機農産物のJAS格付実績の推移



※外国でJAS格付された有機農産物は、主に外国で有機農産物加工食品の原材料として使用される。

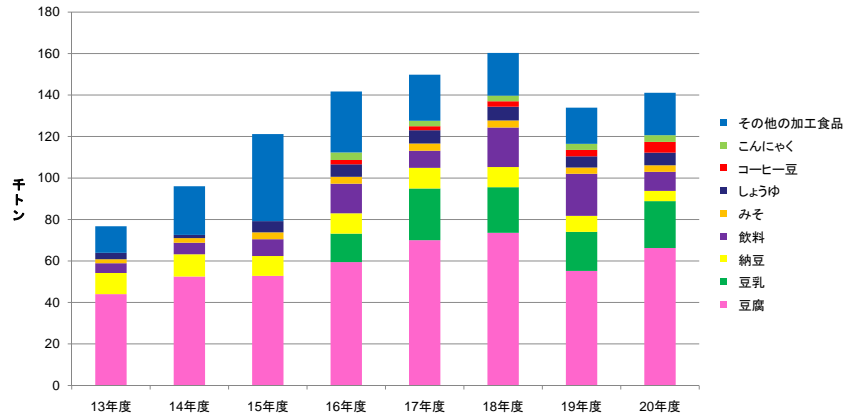
## 有機加工食品は国産、外国産同程度の量

有機加工食品JAS格付実績の推移(国産・外国産)



## 国産有機加工食品は豆腐、豆乳が多い

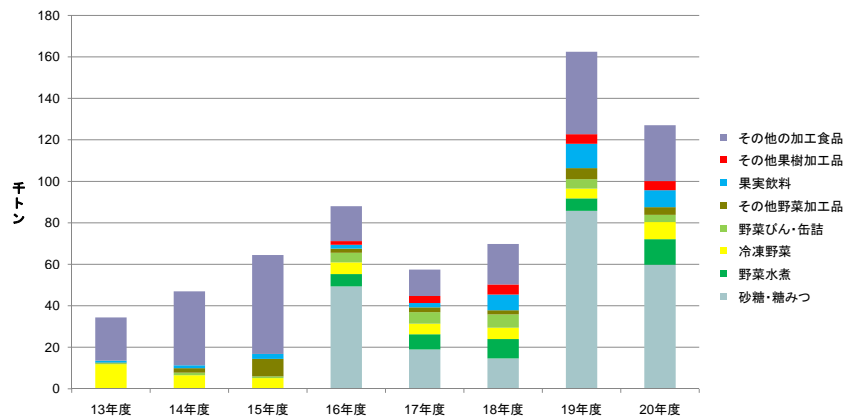
国産有機加工食品のJAS格付実績の推移



※飲料は、茶系飲料、果実飲料、野菜飲料、コーヒー飲料の合計。

## 外国産有機加工食品は砂糖・糖みつ、野菜水煮が多い

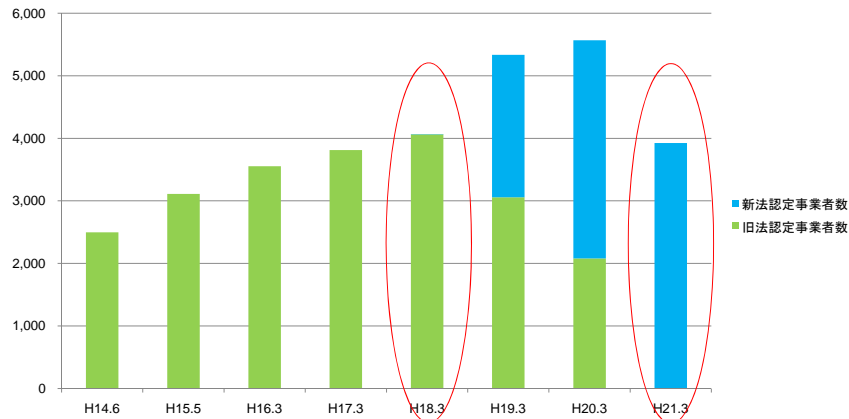
外国産有機加工食品のJAS格付実績の推移



※平成13～15年度は、「砂糖・糖みつ」は「その他の加工食品」に含まれる。

## 国内認定事業者数は近年変化していない

国内有機JAS認定事業者数の推移

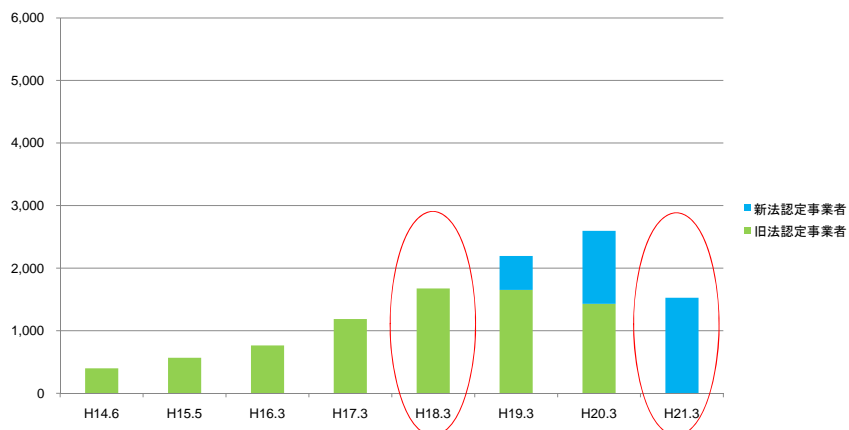


※JAS法は平成17年6月改正、平成18年3月1日施行され、旧JAS法下の認定事業者は、新JAS法下で再度認定を取得。3年間の経過措置のため、平成18～20年の認定事業者数の一部は新法及び旧法の両方の事業者としてカウント。

18

## 外国認定事業者数は近年変化していない

外国有機JAS認定事業者数の推移

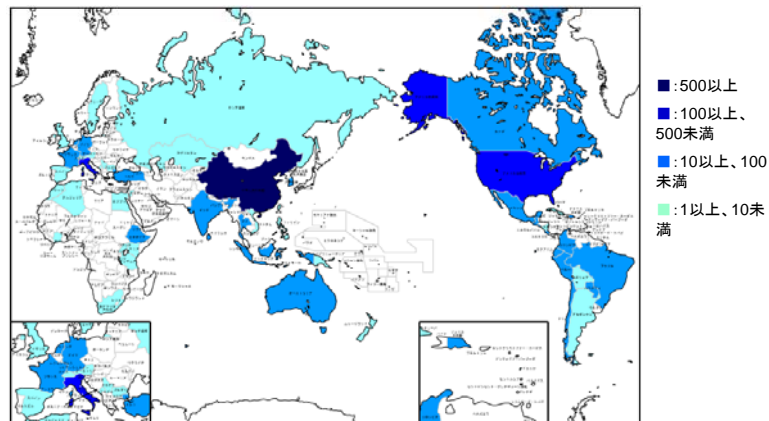


※JAS法は平成17年6月改正、平成18年3月1日施行され、旧JAS法下の認定事業者は、新JAS法下で再度認定を取得。3年間の経過措置のため、平成18～20年の認定事業者数の一部は新法及び旧法の両方の事業者としてカウント。

19

# 資料1

登録(外国)認定機関により認定され、有機JAS品を生産している認定事業者は、同等国の20か国のみならず、世界59か国に広く分布している



世界各国の有機JAS認定事業者の分布

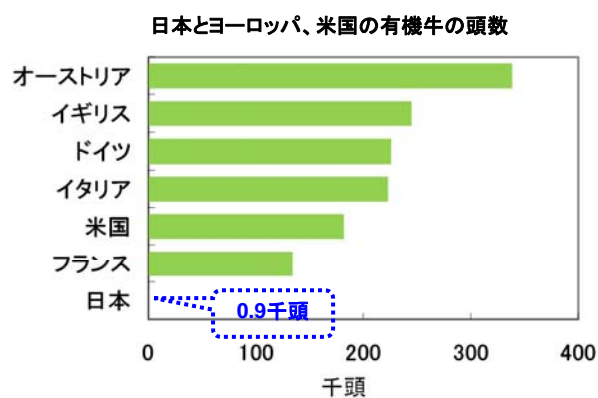
外国事業者の認定のほか、我が国は有機農産物、有機農産物加工食品についてJAS規格による格付制度と同等の制度を有する国として20か国を認めている



日本が同等性を認めている国

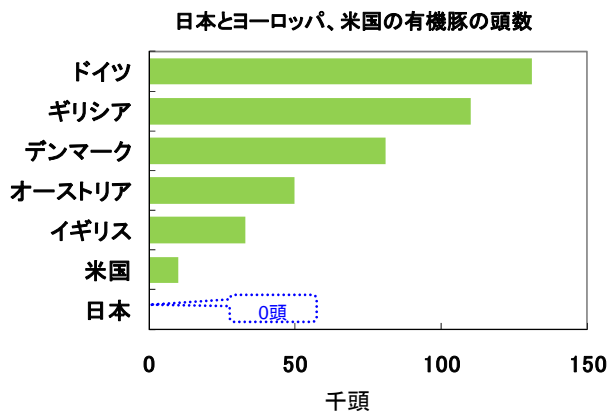
## 有機畜産物について

### 国内の有機牛は約900頭



・ドイツとフランスを除くヨーロッパのデータ: eurostat pocketbooks Food from farm to fork statistics, 2008 edition Table2.14 and Table2.18から引用  
・ドイツとフランスのデータ: ZMP Central Market and Price Report Office, Statistics about organic farming 2005から引用  
・米国のデータ: USDA Marketing U.S. Organic Foods Table4, Table5から引用

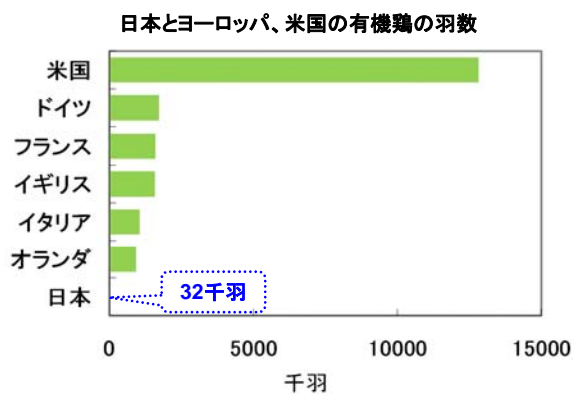
## 国内の有機豚はゼロ



・ドイツとフランスを除くヨーロッパのデータ: eurostat pocketbooks Food:from farm to fork statistics, 2008 edition Table2.14 and Table2.18から引用  
 ・ドイツとフランスのデータ: ZMP Central Market-and Price Report Office, Statistics about organic farming 2005から引用  
 ・米国のデータ: USDA Marketing U.S. Organic Foods Table4, Table5から引用

23

## 国内の有機鶏は約3万羽



・ドイツとフランスを除くヨーロッパのデータ: eurostat pocketbooks Food:from farm to fork statistics, 2008 edition Table2.14 and Table2.18から引用  
 ・ドイツとフランスのデータ: ZMP Central Market-and Price Report Office, Statistics about organic farming 2005から引用  
 ・米国のデータ: USDA Marketing U.S. Organic Foods Table4, Table5から引用

24